

一般書 Q & A の広報・普及活動について

1. 一般書の現状について

- ・平成 18 年 4 月 27 日時点：2000 冊のうち、残部が 426 冊
- ・1000 冊の増刷が決定された

2. 増刷に対する対応

- ・今回の増刷にあたっては、最小限の誤字脱字程度の修正のみとする。
- ・修正内容については、PDF の形で、平成 18 年 5 月 15 日（月）までに、後藤委員長にメール（goto@ccn.yamanashi.ac.jp）する。

3. 今後の活動について

(1) 一般紙への広告の掲載

- ・各種の新聞や雑誌への掲載による宣伝効果も大きいと思われる。これまで、掲載された媒体は以下の通り。

月刊誌「生活と環境」 平成 18 年 3 月号

環境新聞 平成 18 年 3 月 15 日

土と基礎(地盤工学会学会誌) 平成 18 年 3 月号

地質と調査 2006 年第 1 号

日本地すべり学会誌 第 42 巻第 2 号

砂防学会誌 第 58 巻第 6 号

応用地質(日本応用地質学会学会誌) 平成 18 年 4 月(第 47 巻第 1 号)

- ・朝日新聞などの一般紙も含めて、広告掲載をする方向で考えてはどうか？

測量 3月号
地質 2月号

(2) 講習会や学会での販売促進

- ・講習会の開催や学会の全国大会などで販売することを考える。
※現時点では、6 月 29 日に高松で開催される“土砂災害に関する講習会「巨大化する台風、来るべき南海地震、近くの斜面は大丈夫か！」（案）”において、テキストとして販売する予定。
- ・学会の大会などで販売しにくい場合には、パンフレットを置かせてもらう。
置かせてもらえそうな学会の大会をリストアップし、担当者を決める必要がある。
- ・広報・普及WGを中心とした市民向け講習会の開催に当たっての販売